

# 1 平成23年愛知県鉱工業指数の概況

## <生産指数>

生産指数は84.6で、前年比7.6%低下でした。

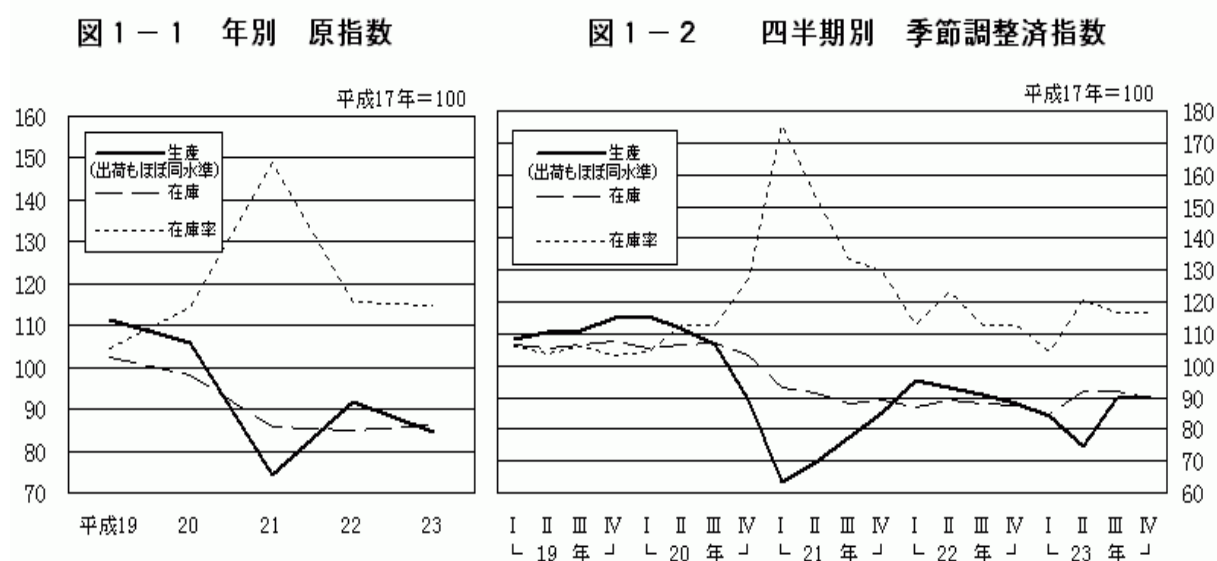
業種別で見ると、低下したのは輸送機械工業(84.6)が前年比13.6%低下、情報通信機械工業(51.9)が同42.4%低下、窯業・土石製品工業(73.2)が同15.2%低下等14業種でした。一方、上昇したのは一般機械工業(79.5)が前年比13.6%上昇、化学工業(110.7)が同7.2%上昇、食料品工業(94.2)が同3.0%上昇等8業種でした。

## <生産者出荷指数>

生産者出荷指数は83.8で、前年比7.7%低下でした。

業種別で見ると、低下したのは輸送機械工業(84.1)が前年比13.1%低下、情報通信機械工業(54.0)が同29.2%低下、プラスチック製品工業(88.4)が同9.0%低下等15業種でした。一方、上昇したのは一般機械工業(79.0)が前年比13.2%上昇、化学工業(106.5)が同6.9%上昇、石油・石炭製品工業(98.2)が同7.4%上昇等7業種でした。

図1 愛知県鉱工業指数の推移



## <生産者在庫指数>

生産者製品在庫指数は86.1で、前年比1.5%上昇でした。

業種別でみると、上昇したのは窯業・土石製品工業(112.3)が前年比18.1%上昇、一般機械工業(96.0)が同8.8%上昇、プラスチック製品工業(108.7)が同13.8%上昇等13業種でした。一方、低下したのは輸送機械工業(60.2)が前年比33.4%低下、情報通信機械工業(51.2)が同18.1%低下、食料品工業(66.6)が同4.9%低下等8業種でした。

## <生産者在庫率指数>

生産者製品在庫率指数は114.6で、前年比0.9%低下でした。

業種別でみると、低下したのは一般機械工業(119.0)が前年比18.2%低下、化学工業(95.7)が同20.4%低下、食料品工業(94.8)が同16.2%低下等12業種でした。一方、上昇したのは窯業・土石製品工業(161.6)が前年比20.2%上昇、鉄鋼業(120.2)が同9.0%上昇、電子部品・デバイス工業(135.7)が同60.0%上昇等9業種でした。

表1 愛知県鉱工業指数 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
<b>生産指数</b>	91.6	84.6	95.4	93.0	90.7	87.9	83.9	74.8	90.0	89.7
前年比・前期比	23.6	△7.6	11.6	△2.5	△2.5	△3.1	△4.6	△10.8	20.3	△0.3
<b>出荷指数</b>	90.8	83.8	95.8	91.8	90.2	86.1	83.4	72.4	89.7	89.3
前年比・前期比	22.5	△7.7	12.8	△4.2	△1.7	△4.5	△3.1	△13.2	23.9	△0.4
<b>在庫指数</b>	84.8	86.1	87.0	89.2	88.2	87.5	84.7	91.7	92.2	89.5
前年比・前期比	△1.3	1.5	△2.2	2.5	△1.1	△0.8	△3.2	8.3	0.5	△2.9
<b>在庫率指数</b>	115.6	114.6	112.7	123.3	112.8	112.6	104.5	120.7	116.6	116.7
前年比・前期比	△22.3	△0.9	△13.1	9.4	△8.5	△0.2	△7.2	15.5	△3.4	0.1

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

参考 全国及び中部地域の鋳工業指数

図2 全国の鋳工業指数の推移

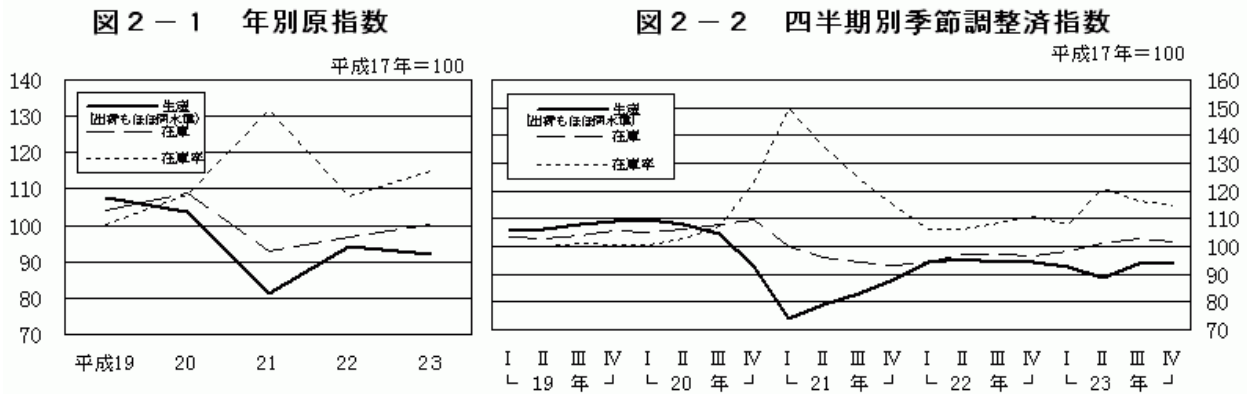


表2 全国の年・期別鋳工業指数の推移

平成17年=100

項目	年・期	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
				I	II	III	IV	I	II	III	IV
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産指数		94.4	92.2	94.6	95.3	94.3	94.2	92.8	88.9	93.7	94.1
前年比・前期比		16.4	△ 2.3	7.4	0.7	△ 1.0	△ 0.1	△ 1.5	△ 4.2	5.4	0.4
出荷指数		95.8	92.4	95.8	96.5	95.7	95.4	93.2	88.1	94.3	94.6
前年比・前期比		16.7	△ 3.5	7.5	0.7	△ 0.8	△ 0.3	△ 2.3	△ 5.5	7.0	0.3
在庫指数		96.6	100.3	94.4	96.9	97.3	96.7	98.1	101.1	102.9	101.5
前年比・前期比		3.8	3.8	1.5	2.6	0.4	△ 0.6	1.4	3.1	1.8	△ 1.4
在庫率指数		108.1	115.0	106.3	106.5	108.7	111.0	107.7	121.1	116.5	115.0
前年比・前期比		△ 17.9	6.4	△ 7.3	0.2	2.1	2.1	△ 3.0	12.4	△ 3.8	△ 1.3

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。  
 注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。  
 資料 経済産業省による。

図3 中部地域の鋳工業指数の推移

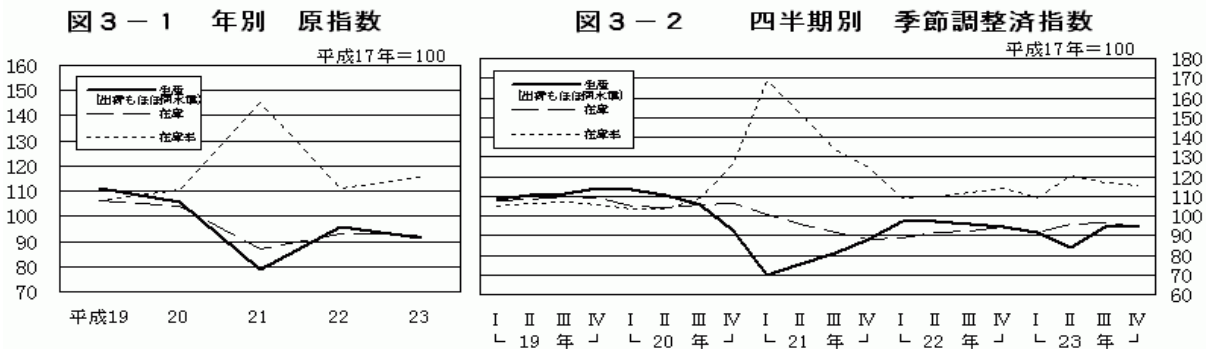


表3 中部地域の年・期別鋳工業指数の推移

平成17年=100

項目	年・期	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
				I	II	III	IV	I	II	III	IV
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産指数		96.0	91.2	97.3	97.4	95.6	94.2	91.9	83.9	94.5	94.9
前年比・前期比		22.0	△ 5.0	10.3	0.1	△ 1.8	△ 1.5	△ 2.4	△ 8.7	12.6	0.4
出荷指数		95.1	90.3	96.7	96.4	94.7	93.0	91.9	81.1	94.0	94.7
前年比・前期比		21.3	△ 5.0	10.8	△ 0.3	△ 1.8	△ 1.8	△ 1.2	△ 11.8	15.9	0.7
在庫指数		92.8	92.6	89.0	91.7	92.0	94.3	91.6	95.5	96.2	94.5
前年比・前期比		6.7	△ 0.2	0.8	3.0	0.3	2.5	△ 2.9	4.3	0.7	△ 1.8
在庫率指数		111.2	115.5	109.1	109.7	112.1	113.8	109.0	120.7	116.6	115.6
前年比・前期比		△ 23.5	3.9	△ 12.4	0.5	2.2	1.5	△ 4.2	10.7	△ 3.4	△ 0.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。  
 注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。  
 注3 「中部地域」とは、富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県です。  
 資料 中部経済産業局による。

表4 平成23年 業種別原指数（生産・出荷・在庫・在庫率指数）の前年比及び寄与度

平成17年=100

業 種 名	生 産			出 荷			在 庫			在 庫 率		
	指 数	前年比	寄与度	指 数	前年比	寄与度	指 数	前年比	寄与度	指 数	前年比	寄与度
		%	%		%	%		%	%		%	%
鋳 工 業	84.6	△ 7.6	-	83.8	△ 7.7	-	86.1	1.5	-	114.6	△ 0.9	-
鉄 鋼 業	88.3	△ 3.0	△ 0.190	87.6	△ 1.8	△ 0.106	109.5	5.3	1.087	120.2	9.0	1.377
非鉄金属工業	85.7	△ 7.8	△ 0.109	86.2	△ 9.0	△ 0.164	96.3	8.8	0.206	106.2	13.6	0.256
金属製品工業	83.8	△ 6.1	△ 0.208	82.1	△ 6.7	△ 0.201	62.2	△ 0.3	△ 0.013	82.9	△ 1.5	△ 0.056
一般機械工業	79.5	13.6	1.252	79.0	13.2	1.003	96.0	8.8	1.096	119.0	△ 18.2	△ 2.835
電気機械工業	96.5	1.9	0.090	97.1	1.5	0.074	62.5	47.1	0.620	136.1	49.1	0.411
情報通信 機械工業	51.9	△ 42.4	△ 0.762	54.0	△ 29.2	△ 0.824	51.2	△ 18.1	△ 0.659	168.5	△ 6.0	△ 0.475
電子部品・ デバイス工業	81.3	△ 11.9	△ 0.315	66.9	△ 10.0	△ 0.156	113.6	112.3	1.021	135.7	60.0	0.658
輸送機械工業	84.6	△ 13.6	△ 6.606	84.1	△ 13.1	△ 6.865	60.2	△ 33.4	△ 5.853	91.8	△ 3.3	△ 0.457
精密機械工業	86.4	△ 4.6	△ 0.015	88.9	△ 6.4	△ 0.017	335.2	24.0	0.032	460.4	△ 6.5	△ 0.012
窯業・土石 製品工業	73.2	△ 15.2	△ 0.504	70.8	△ 14.5	△ 0.270	112.3	18.1	1.796	161.6	20.2	2.162
化学工業	110.7	7.2	0.216	106.5	6.9	0.234	93.4	12.5	0.975	95.7	△ 20.4	△ 1.755
石油・石炭 製品工業	96.7	4.4	0.015	98.2	7.4	0.128	105.0	19.3	0.217	118.0	11.0	0.113
プラスチック 製品工業	88.0	△ 7.2	△ 0.344	88.4	△ 9.0	△ 0.384	108.7	13.8	1.096	106.8	6.0	0.379
パルプ・紙・ 紙加工品工業	89.6	△ 1.2	△ 0.010	89.4	△ 1.4	△ 0.013	83.4	△ 15.5	△ 0.071	105.2	△ 4.3	△ 0.016
繊維工業	63.1	△ 0.3	△ 0.003	55.6	△ 6.6	△ 0.054	51.4	△ 0.4	△ 0.011	102.8	7.3	0.291
食料品工業	94.2	3.0	0.118	88.7	2.1	0.078	66.6	△ 4.9	△ 0.211	94.8	△ 16.2	△ 0.866
ゴム製品工業	97.4	△ 0.1	△ 0.002	91.9	△ 1.2	△ 0.016	123.9	26.2	0.181	126.0	22.9	0.126
家具工業	79.0	△ 10.6	△ 0.092	85.3	△ 13.5	△ 0.095	78.8	△ 4.3	△ 0.045	123.4	△ 5.1	△ 0.065
印刷業	66.8	△ 24.0	△ 0.262	66.9	△ 23.9	△ 0.095	-	-	-	-	-	-
木材・木製品 工業	63.9	7.6	0.016	67.3	6.7	0.013	77.3	10.7	0.067	145.4	△ 6.7	△ 0.071
その他 製品工業	78.6	1.0	0.001	86.1	△ 0.1	0.000	69.1	11.3	0.031	64.7	△ 9.4	△ 0.022
鉱 業	62.5	3.5	0.001	63.8	3.7	0.001	75.2	△ 10.8	△ 0.003	123.4	△ 9.7	△ 0.003

## 2 業種別の動向

### (1) 鉄鋼業

#### — 生産、出荷は低下、在庫は2年連続上昇 —

生産指数は前年比 3.0%低下の 88.3 となり、出荷指数は同 1.8%低下の 87.6 となり、在庫指数は同 5.3%上昇の 109.5 となった。

生産指数では、冷間仕上鋼材(前年比 9.3%低下)、鍛造品(同 3.3%低下)等が低下し、熱間圧延鋼材(前年比 0.7%上昇)のみ上昇した。

出荷指数では、冷間仕上鋼材(前年比 8.5%低下)、めっき鋼材(同 10.1%低下)等が低下し、熱間圧延鋼材(前年比 3.5%上昇)のみ上昇した。

在庫指数では、鉄素製品(含、鋼半製品)(前年比 10.6%上昇)、鋼管(同 20.3%上昇)等が上昇し、めっき鋼材(同 19.7%低下)等が低下した。

図4 鉄鋼業 指数の推移

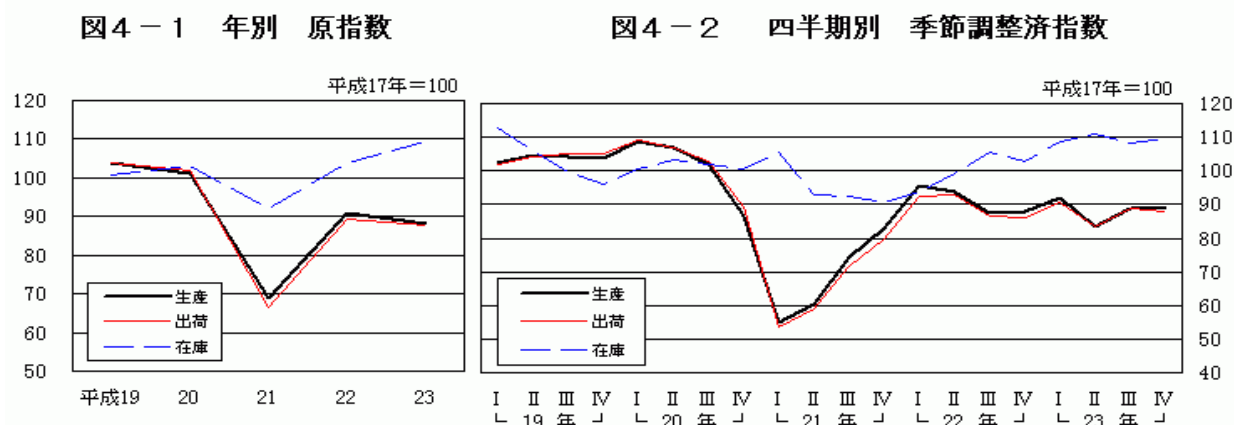


表5 鉄鋼業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成 22 年				平成 23 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	91.0	88.3	95.6	93.6	87.5	87.9	91.9	83.6	88.9	89.0
前年比・前期比	32.3	△ 3.0	15.0	△ 2.1	△ 6.5	0.5	4.6	△ 9.0	6.3	0.1
出荷指数	89.2	87.6	92.4	92.7	86.6	86.0	90.8	83.5	88.7	87.8
前年比・前期比	34.1	△ 1.8	15.9	0.3	△ 6.6	△ 0.7	5.6	△ 8.0	6.2	△ 1.0
在庫指数	104.0	109.5	93.6	99.3	105.7	103.0	108.6	110.9	108.1	109.6
前年比・前期比	12.9	5.3	3.4	6.1	6.4	△ 2.6	5.4	2.1	△ 2.5	1.4

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (2) 非鉄金属工業

### — 生産、出荷は低下、在庫は上昇 —

生産指数は前年比 7.8%低下の 85.7 となり、出荷指数は同 9.0%低下の 86.2 となり、在庫指数は同 8.8%上昇の 96.3 となった。

生産指数では、非鉄金属鋳物(前年比 11.3%低下)、伸銅・アルミニウム圧延製品(同 4.8%低下)等が低下し、銅線(前年比 18.7%上昇)のみ上昇した。

出荷指数では、非鉄金属鋳物(前年比 11.6%低下)、伸銅・アルミニウム圧延製品(同 5.2%低下)等すべて低下した。

在庫指数では、銅線(前年比 76.0%上昇)、非鉄金属地金(同 12.7%上昇)等が上昇した。

図5 非鉄金属工業 指数の推移

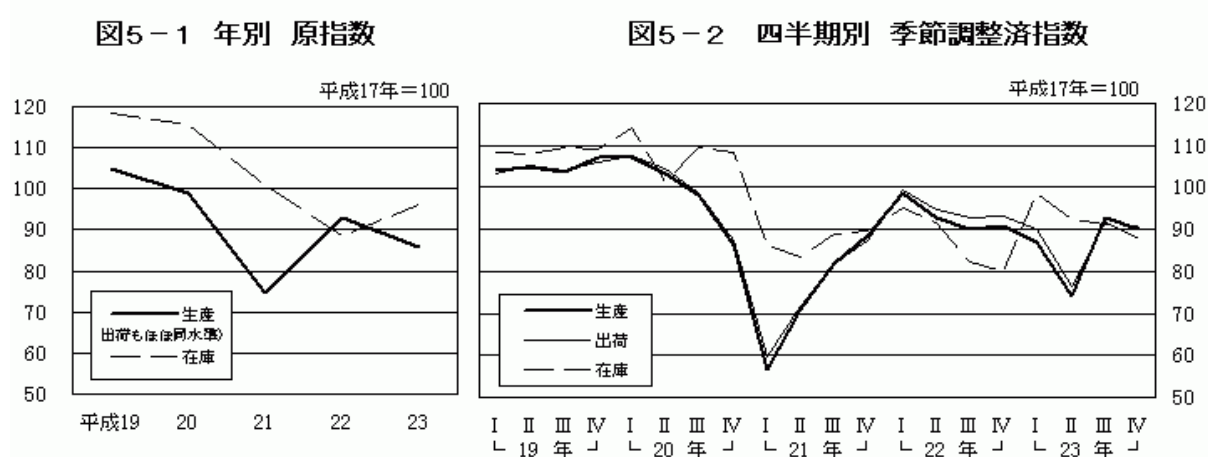


表6 非鉄金属工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年		平成22年				平成23年			
	平成22年	平成23年	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	92.9	85.7	98.7	92.7	90.1	91.0	86.9	74.0	92.6	89.9
前年比・前期比	24.2	△ 7.8	11.4	△ 6.1	△ 2.8	1.0	△ 4.5	△ 14.8	25.1	△ 2.9
出荷指数	94.7	86.2	99.3	94.6	92.6	93.0	90.0	76.5	91.5	87.9
前年比・前期比	25.4	△ 9.0	13.5	△ 4.7	△ 2.1	0.4	△ 3.2	△ 15.0	19.6	△ 3.9
在庫指数	88.5	96.3	95.2	91.5	82.2	79.8	98.7	92.4	91.1	90.8
前年比・前期比	△ 12.2	8.8	6.4	△ 3.9	△ 10.2	△ 2.9	23.7	△ 6.4	△ 1.4	△ 0.3

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

### (3) 金属製品工業

#### — 生産、出荷は低下、在庫は3年連続の低下 —

生産指数は前年比 6.1 低下の 83.8 となり、出荷指数は同 6.7%低下の 82.1 となり、在庫指数は同 0.3%低下の 62.2 となった。

生産指数では、建設用金属製品(前年比 61.0%低下)、ばね(同 11.9%低下)等が低下し、暖ちゅう房熱機器(同 9.7%上昇)のみ上昇した。

出荷指数では、建設用金属製品(前年比 60.8%低下)、ばね(同 11.6%低下)等が低下し、暖ちゅう房熱機器(同 7.1%上昇)のみ上昇した。

在庫指数では、その他の金属製品(前年比 5.1%低下)、暖ちゅう房熱機器(同 0.6%低下)等が低下し、ばね(同 2.9%上昇)のみ上昇した。

図6 金属製品工業 指数の推移

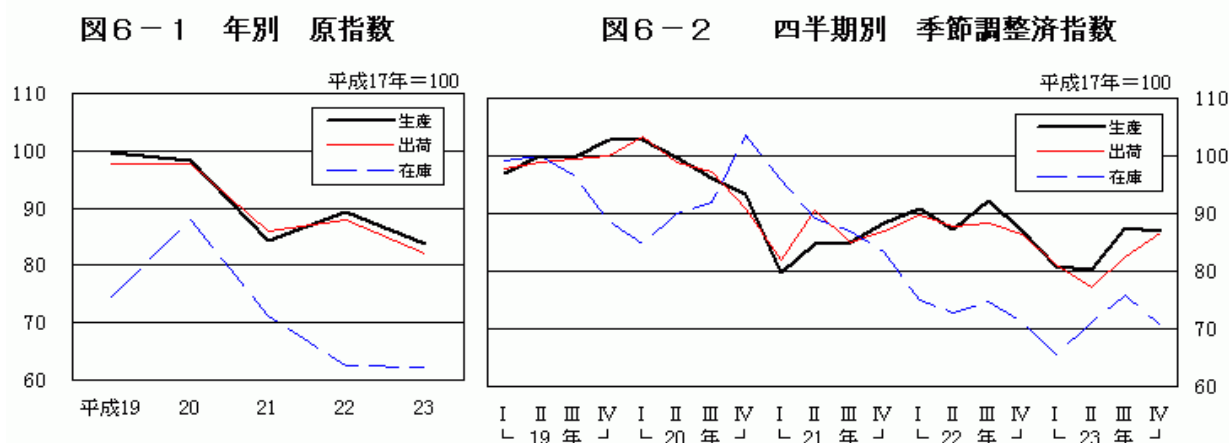


表7 金属製品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	89.2	83.8	90.7	87.3	92.1	87.0	80.8	80.3	87.5	87.0
前年比・前期比	5.9	△ 6.1	2.8	△ 3.7	5.5	△ 5.5	△ 7.1	△ 0.6	9.0	△ 0.6
出荷指数	88.0	82.1	89.7	87.8	88.2	86.3	81.0	77.3	82.6	86.6
前年比・前期比	2.2	△ 6.7	3.2	△ 2.1	0.5	△ 2.2	△ 6.1	△ 4.6	6.9	4.8
在庫指数	62.4	62.2	75.1	72.7	74.8	71.1	65.5	71.1	75.8	70.6
前年比・前期比	△ 12.2	△ 0.3	△ 10.0	△ 3.2	2.9	△ 4.9	△ 7.9	8.5	6.6	△ 6.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。



## (4) 一般機械工業

### — 生産、出荷は2年連続上昇、在庫も上昇 —

生産指数は前年比 13.6%上昇の 79.5 となり、出荷指数は同 13.2%上昇の 79.0 となり、在庫指数は同 8.8%上昇の 96.0 となった。

生産指数では、金属工作機械(前年比 46.7%上昇)、機械工具(同 21.3%上昇)等が上昇し、金属加工機械(同 10.0%低下)等が低下した。

出荷指数では、金属工作機械(前年比 48.3%上昇)、冷凍機・同応用製品(同 7.6%上昇)等が上昇し、金属加工機械(同 10.0%低下)等が低下した。

在庫指数では、機械工具(前年比 15.4%上昇)、金属工作機械(同 12.7%上昇)等が上昇し、特殊産業機械(同 6.4%低下)等が低下した。

図7 一般機械工業 指数の推移

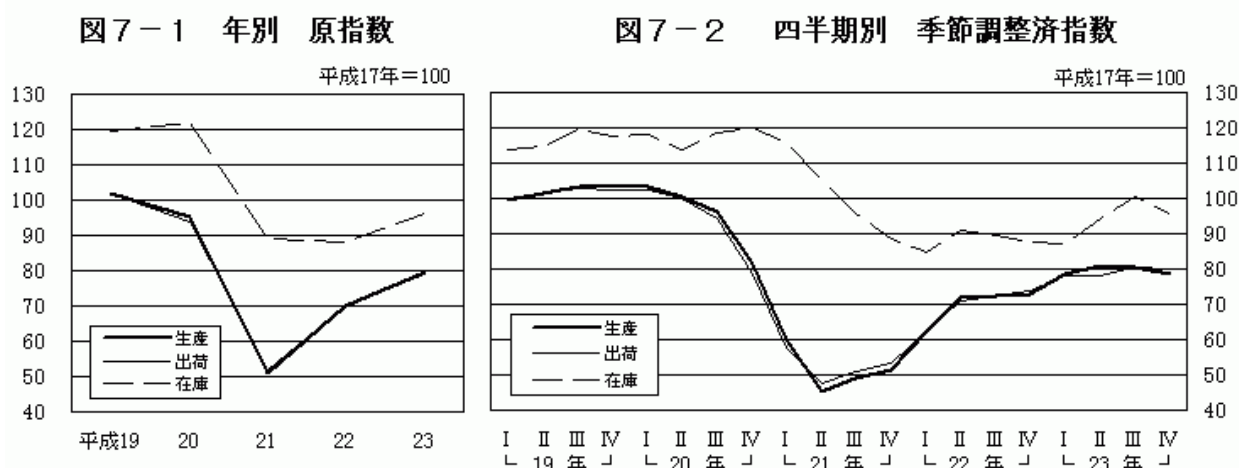


表8 一般機械工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	年		平成22年				平成23年			
	平成22年	平成23年	I	II	III	IV	I	II	III	IV
			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
<b>生産指数</b>	70.0	79.5	62.3	72.1	72.5	72.9	78.8	80.8	80.4	78.8
前年比・前期比	37.0	13.6	21.7	15.7	0.6	0.6	8.1	2.5	△ 0.5	△ 2.0
<b>出荷指数</b>	69.8	79.0	62.5	71.1	72.4	73.6	77.9	78.3	80.4	80.2
前年比・前期比	34.0	13.2	16.8	13.8	1.8	1.7	5.8	0.5	2.7	△ 0.2
<b>在庫指数</b>	88.2	96.0	84.7	91.1	89.3	87.5	87.0	94.4	100.5	95.6
前年比・前期比	△ 1.0	8.8	△ 4.3	7.6	△ 2.0	△ 2.0	△ 0.6	8.5	6.5	△ 4.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。



## (5) 電気機械工業

### — 生産、出荷は2年連続上昇、在庫は3年ぶりに上昇 —

生産指数は前年比 1.9%上昇の 96.5 となり、出荷指数は同 1.5%上昇の 97.1 となり、在庫指数は同 47.1%上昇の 62.5 となった。

生産指数では、電子応用装置(前年比 20.2%上昇)、静止電気機械(同 7.1%上昇)等が上昇し、開閉制御装置・機器(同 3.7%低下)等が低下した。

出荷指数では、電子応用装置(前年比 19.7%上昇)、静止電気機械(同 7.3%上昇)等が上昇し、開閉制御装置・機器(同 3.4%低下)等が低下した。

在庫指数では、民生用電気機械(前年比 54.6%上昇)、回転電気機械(同 31.1%上昇)が上昇し、静止電気機械(同 8.1%低下)のみ低下した。

図8 電気機械工業 指数の推移

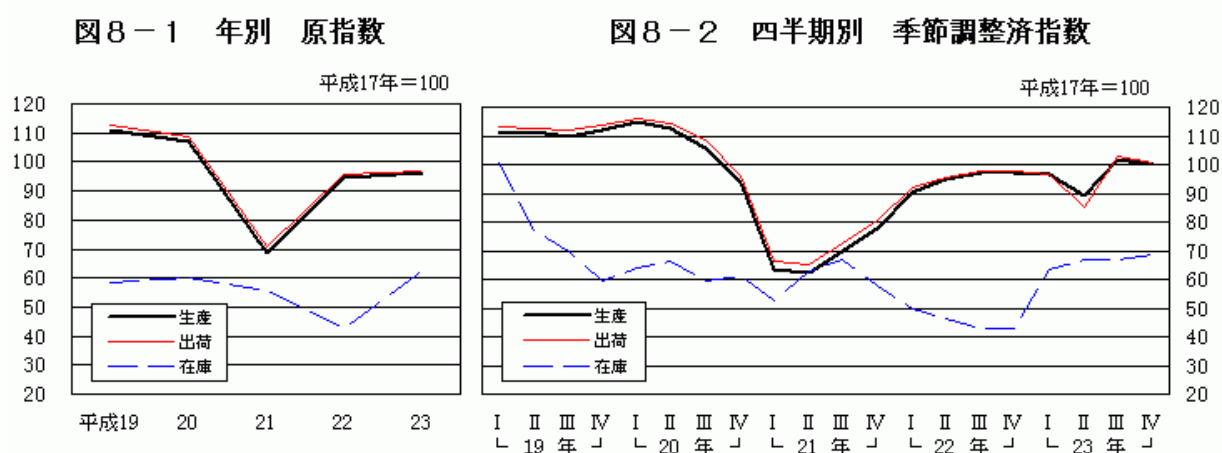


表9 電気機械工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	94.7	96.5	90.3	94.8	97.1	96.9	96.7	89.0	101.6	99.9
前年比・前期比	38.2	1.9	16.1	5.0	2.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 8.0	14.2	△ 1.7
出荷指数	95.7	97.1	92.1	95.7	97.9	97.7	96.6	85.3	102.6	100.8
前年比・前期比	34.8	1.5	14.6	3.9	2.3	△ 0.2	△ 1.1	△ 11.7	20.3	△ 1.8
在庫指数	42.5	62.5	49.8	46.4	42.8	42.8	63.6	67.0	66.9	68.6
前年比・前期比	△ 23.3	47.1	△ 14.0	△ 6.8	△ 7.8	0.0	48.6	5.3	△ 0.1	2.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数で、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (6) 情報通信機械工業

### — 生産、出荷、在庫ともに低下 —

生産指数は前年比 42.4%低下の 51.9 となり、出荷指数は同 29.2%低下の 54.0 となり、在庫指数は同 18.1%低下の 51.2 となった。

生産指数では、民生用電子機械(前年比 51.9%低下)、電子計算機(同 34.8%低下)が低下し、通信機械(同 14.0%上昇)のみ上昇した。

出荷指数では、民生用電子機械(前年比 30.1%低下)、電子計算機(同 35.8%低下)が低下し、通信機械(同 8.5%上昇)のみ上昇した。

在庫指数では、民生用電子機械(前年比 20.9%低下)、通信機械(同 2.7%低下)が低下した。

図9 情報通信機械工業 指数の推移

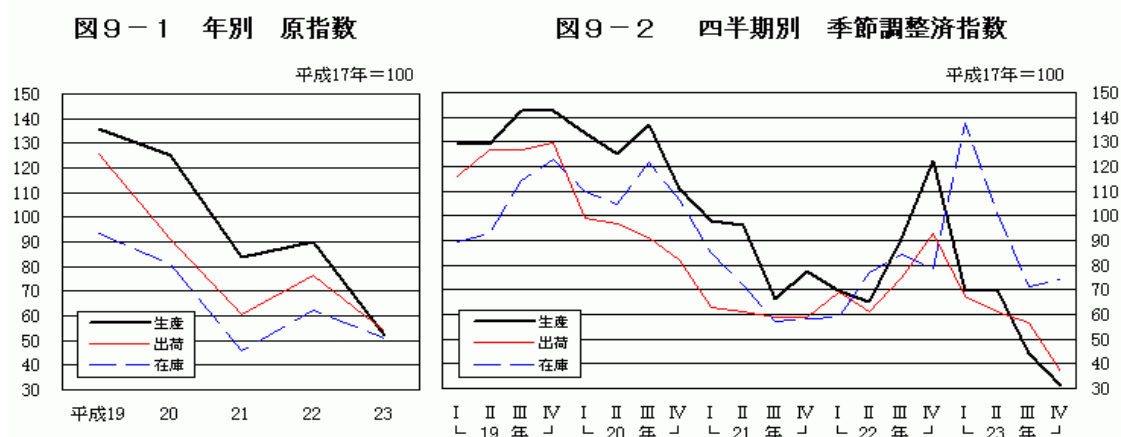


表10 情報通信機械工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
<b>生産指数</b>	90.1	51.9	69.9	65.3	90.6	122.0	69.4	70.0	44.3	31.3
前年比・前期比	7.3	△ 42.4	△ 9.7	△ 6.6	38.7	34.7	△ 43.1	0.9	△ 36.7	△ 29.3
<b>出荷指数</b>	76.3	54.0	68.8	61.0	74.9	92.6	67.3	61.0	56.5	36.9
前年比・前期比	26.3	△ 29.2	17.4	△ 11.3	22.8	23.6	△ 27.3	△ 9.4	△ 7.4	△ 34.7
<b>在庫指数</b>	62.5	51.2	58.8	77.0	84.1	78.7	137.6	101.1	71.1	74.3
前年比・前期比	35.9	△ 18.1	0.7	31.0	9.2	△ 6.4	74.8	△ 26.5	△ 29.7	4.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (7) 電子部品・デバイス工業

### — 生産、出荷は低下、在庫は3年ぶりに上昇 —

生産指数は前年比 11.9%低下の 81.3 となり、出荷指数は同 10.0%低下の 66.9 となり、在庫指数は同 112.3%上昇の 113.6 となった。

生産指数では、電子部品(前年比 10.7%低下)、半導体素子・集積回路(同 13.6%低下)ともに低下した。

出荷指数では、電子部品(前年比 8.6%低下)、半導体素子・集積回路(同 19.7%低下)ともに低下した。

在庫指数では、電子部品(前年比 119.9%上昇)が上昇し、半導体素子・集積回路(同 32.7%低下)が低下した。

図10 電子部品・デバイス工業 指数の推移

図10-1 年別 原指数

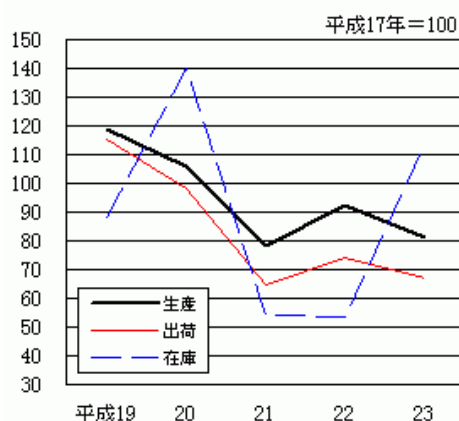


図10-2 四半期別 季節調整済指数

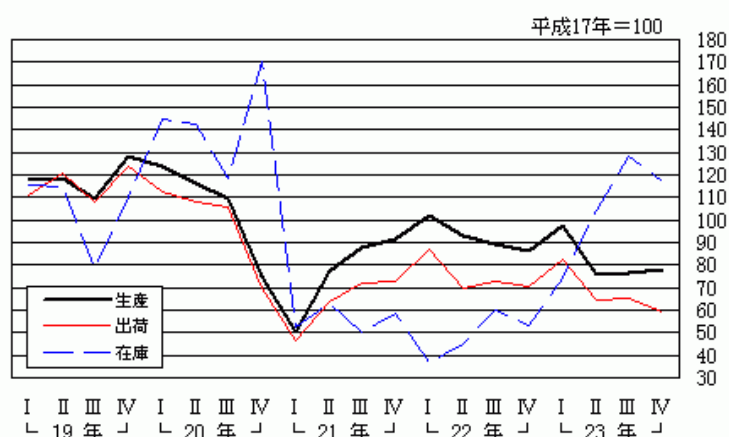


表11 電子部品・デバイス工業 年・期別指数の推移

項目	年・期	平成17年=100									
		平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
				I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数		92.3	81.3	101.7	93.1	89.6	86.3	97.8	76.1	76.3	78.1
前年比・前期比		18.2	△ 11.9	11.3	△ 8.5	△ 3.8	△ 3.7	13.3	△ 22.2	0.3	2.4
出荷指数		74.3	66.9	86.8	69.9	73.0	70.2	82.3	64.3	65.0	59.0
前年比・前期比		14.3	△ 10.0	19.1	△ 19.5	4.4	△ 3.8	17.2	△ 21.9	1.1	△ 9.2
在庫指数		53.5	113.6	36.6	45.2	59.7	53.2	74.4	104.0	128.1	117.2
前年比・前期比		△ 1.3	112.3	△ 37.4	23.5	32.1	△ 10.9	39.8	39.8	23.2	△ 8.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (8) 輸送機械工業

### — 生産、出荷は低下、在庫も2年連続の低下 —

生産指数は前年比 13.6%低下の 84.6 となり、出荷指数は同 13.1%低下の 84.1 となり、在庫指数は同 33.4%低下の 60.2 となった。

生産指数では、自動車(前年比 19.0%低下)、乗用車(同 19.7%低下)等が低下し、車体(同 5.1%上昇)のみ上昇した。

出荷指数では、乗用車(前年比 17.2%低下)、自動車(同 16.3%低下)等が低下し、トラック(前年比 1.3%上昇)、車体(同 5.1%上昇)が上昇した。

在庫指数では、自動車(前年比 30.3%低下)、乗用車(同 30.1%低下)等が低下した。

図11 輸送機械工業 指数の推移

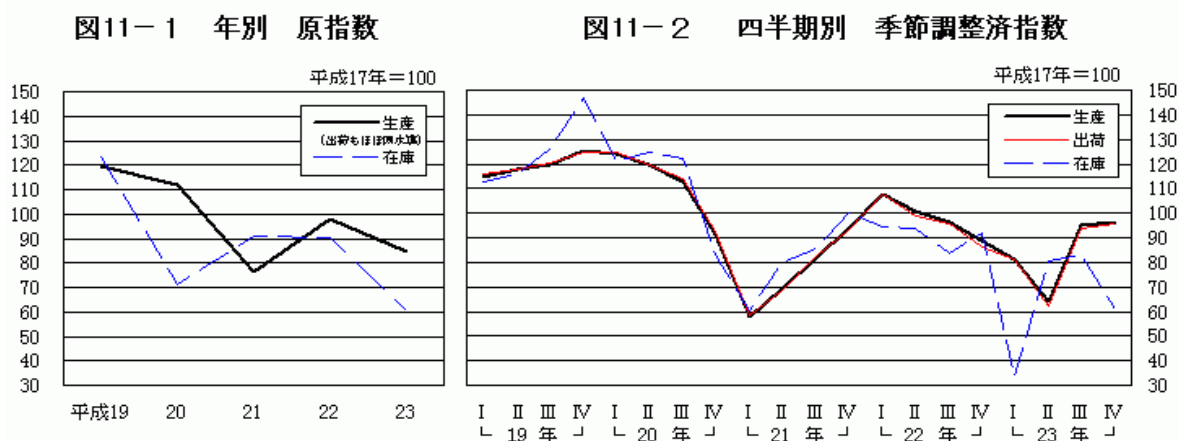


表12 輸送機械工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年		平成23年				平成24年			
	平成22年	平成23年	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	97.9	84.6	107.5	100.6	96.3	88.7	81.2	64.4	95.0	96.2
前年比・前期比	28.6	△ 13.6	14.5	△ 6.4	△ 4.3	△ 7.9	△ 8.5	△ 20.7	47.5	1.3
出荷指数	96.8	84.1	107.4	99.0	95.5	86.5	81.1	62.4	95.6	95.6
前年比・前期比	26.5	△ 13.1	15.1	△ 7.8	△ 3.5	△ 9.4	△ 6.2	△ 23.1	53.2	0.0
在庫指数	90.4	60.2	94.4	93.8	83.4	92.1	33.8	80.3	82.9	60.8
前年比・前期比	△ 0.9	△ 33.4	△ 5.4	△ 0.6	△ 11.1	10.4	△ 63.3	137.6	3.2	△ 26.7

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (9) 精密機械工業

— 生産、出荷は3年連続の低下、在庫は3年ぶりの上昇 —

生産指数は前年比 4.6%低下の 86.4 となり、出荷指数は同 6.4%低下の 88.9 となり、在庫指数は同 24.0%上昇の 335.2 となった。

図12 精密機械工業 指数の推移

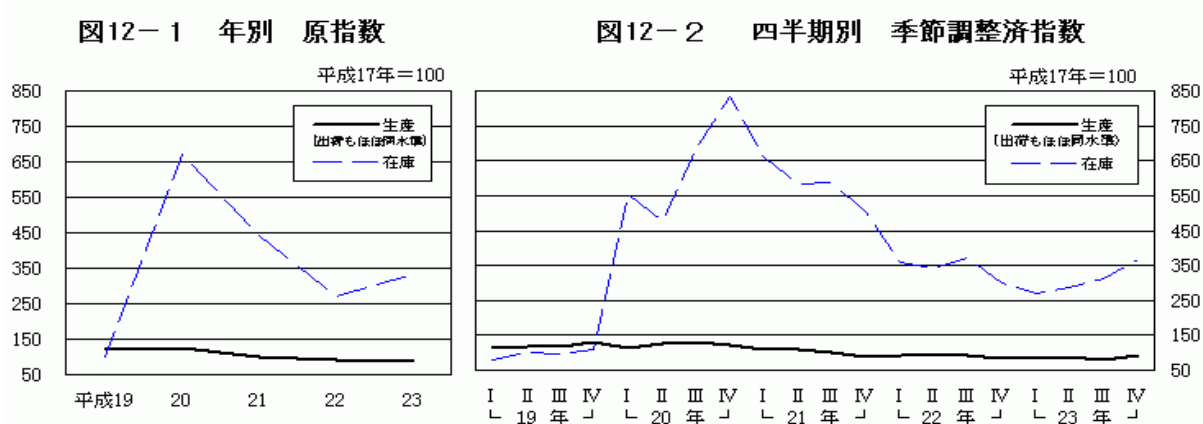


表13 精密機械工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
<b>生産指数</b>	90.6	86.4	91.2	93.7	90.6	85.4	83.1	89.9	80.5	92.5
前年比・前期比	△ 9.9	△ 4.6	4.3	2.7	△ 3.3	△ 5.7	△ 2.7	8.2	△ 10.5	14.9
<b>出荷指数</b>	95.0	88.9	97.9	98.6	93.9	89.3	86.7	91.9	82.6	95.7
前年比・前期比	△ 12.4	△ 6.4	0.7	0.7	△ 4.8	△ 4.9	△ 2.9	6.0	△ 10.1	15.9
<b>在庫指数</b>	270.4	335.2	359.4	341.2	369.8	297.9	269.3	288.5	314.2	366.0
前年比・前期比	△ 38.7	24.0	△ 28.2	△ 5.1	8.4	△ 19.4	△ 9.6	7.1	8.9	16.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (10) 窯業・土石製品工業

### — 生産、出荷は低下、在庫は上昇 —

生産指数は前年比 15.2%低下の 73.2 となり、出荷指数は同 14.5%低下の 70.8 となり、在庫指数は同 18.1%上昇の 112.3 となった。

生産指数では、ファインセラミックス(前年比 34.0%低下)、ガラス・同製品(同 7.3%低下)が低下し、その他の窯業・土石製品(同 12.2%上昇)等が上昇した。

出荷指数では、ファインセラミックス(前年比 34.0%低下)、ガラス・同製品(同 8.3%低下)が低下し、その他の窯業・土石製品(同 7.3%上昇)等が上昇した。

在庫指数では、ファインセラミックス(前年比 58.9%上昇)、セメント製品(同 25.3%上昇)等が上昇し、陶磁器(同 0.1%低下)のみ低下した。

図13 窯業・土石製品工業 指数の推移

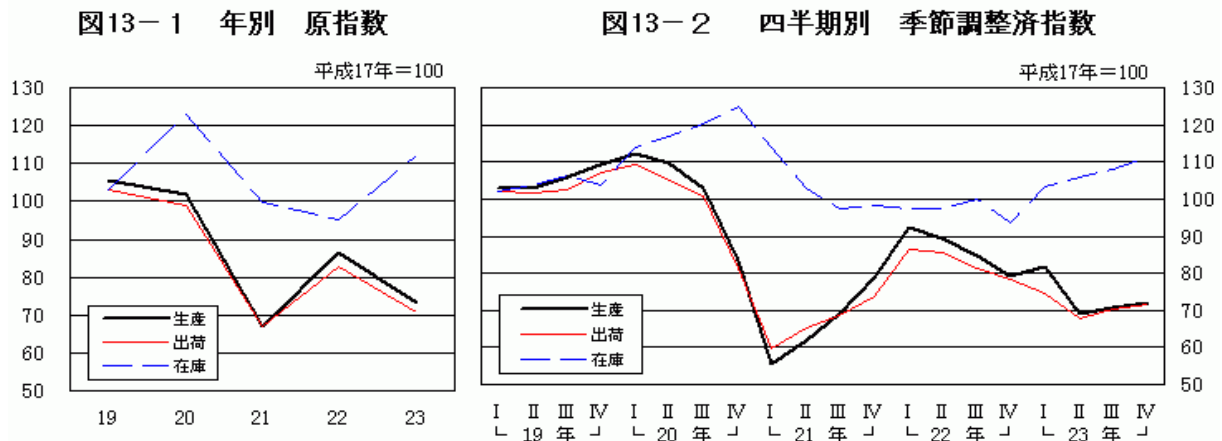


表14 窯業・土石製品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成 22 年				平成 23 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	86.3	73.2	92.5	89.5	84.7	79.0	81.9	69.2	70.7	72.0
前年比・前期比	29.0	△ 15.2	17.7	△ 3.2	△ 5.4	△ 6.7	3.7	△ 15.5	2.2	1.8
出荷指数	82.8	70.8	86.3	85.5	81.3	78.4	74.5	67.6	70.4	71.5
前年比・前期比	23.2	△ 14.5	16.8	△ 0.9	△ 4.9	△ 3.6	△ 5.0	△ 9.3	4.1	1.6
在庫指数	95.1	112.3	97.5	97.6	100.0	93.8	103.5	105.8	108.1	111.2
前年比・前期比	△ 4.5	18.1	△ 0.8	0.1	2.5	△ 6.2	10.3	2.2	2.2	2.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (11) 化学工業

### — 生産は3年連続の上昇、出荷も2年連続の上昇、在庫も上昇 —

生産指数は前年比 7.2%上昇の 110.7 となり、出荷指数は同 6.9%上昇の 106.5 となり、在庫指数は同 12.5%上昇の 93.4 となった。

生産指数では、医薬品（前年比 9.7%上昇）、石油系芳香族(同 61.4%上昇)等が上昇し、有機薬品(同 18.1%低下)等が低下した。

出荷指数では、医薬品（前年比 8.0%上昇）、石油系芳香族(同 33.9%上昇)等が上昇し、プラスチック(同 5.3%低下)等が低下した。

在庫指数では、プラスチック（前年比 30.9%上昇）、石けん・合成洗剤・界面活性剤（同 47.3%上昇）等が上昇し、石油系芳香族(同 10.3%低下)等が低下した。

図14 化学工業 指数の推移

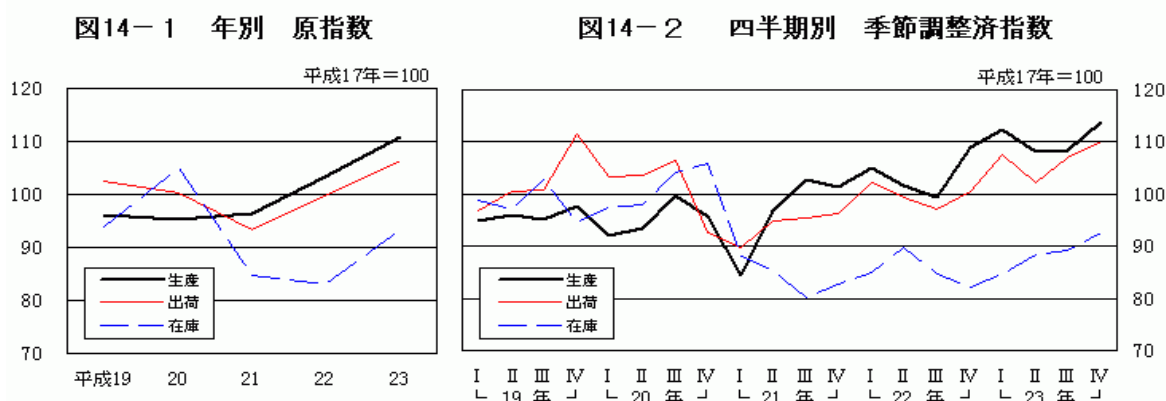


表15 化学工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	103.3	110.7	105.1	101.6	99.4	108.9	112.5	108.2	108.5	113.9
前年比・前期比	7.2	7.2	3.6	△ 3.3	△ 2.2	9.6	3.3	△ 3.8	0.3	5.0
出荷指数	99.6	106.5	102.3	99.5	97.0	100.4	107.5	102.1	107.0	110.0
前年比・前期比	6.8	6.9	6.3	△ 2.7	△ 2.5	3.5	7.1	△ 5.0	4.8	2.8
在庫指数	83.0	93.4	85.1	89.9	84.6	82.1	84.8	88.4	89.3	92.7
前年比・前期比	△ 2.1	12.5	2.9	5.6	△ 5.9	△ 3.0	3.3	4.2	1.0	3.8

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。



## (12) 石油・石炭製品工業

### — 生産、出荷は2年連続上昇、在庫は3年ぶりに上昇 —

生産指数は前年比 4.4%上昇の 96.7 となり、出荷指数は同 7.4%上昇の 98.2 となり、在庫指数は同 19.3%上昇の 105.0 となった。

生産指数では、石油製品(前年比 5.0%上昇)が上昇し、石炭製品(同 5.8%低下)が低下した。

出荷指数では、石油製品(前年比 7.5%上昇)が上昇し、石炭製品(同 52.0%低下)が低下した。

在庫指数では、石油製品(前年比 29.1%上昇)、石炭製品(同 3.8%上昇)ともに上昇した。

図15 石油・石炭製品工業 指数の推移

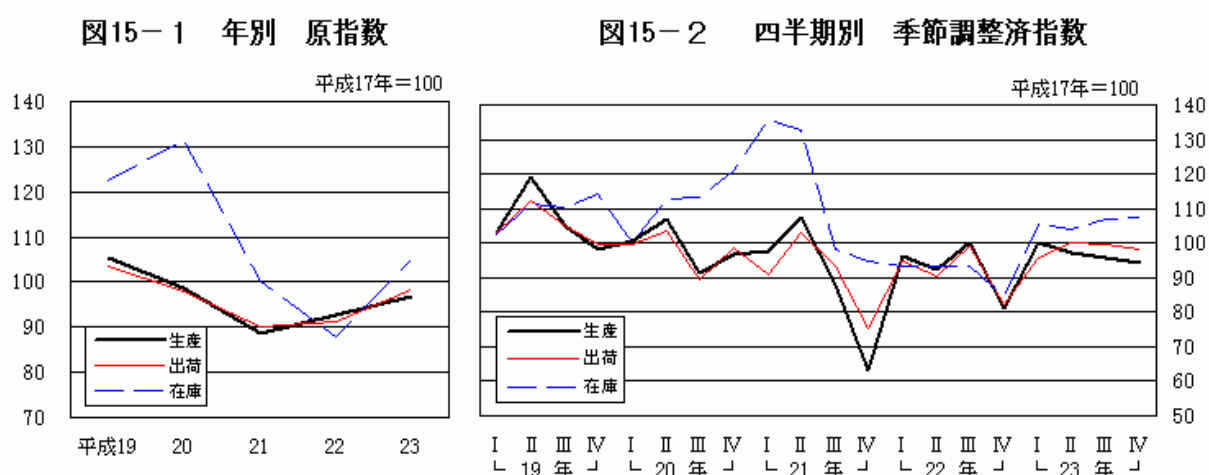


表16 石油石炭製品工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I	II	III	IV	I	II	III	IV
			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産指数	92.6	96.7	96.3	92.5	99.9	80.9	100.3	97.4	95.7	94.1
前年比・前期比	4.6	4.4	52.6	△ 3.9	8.0	△ 19.0	24.0	△ 2.9	△ 1.7	△ 1.7
出荷指数	91.4	98.2	94.8	90.5	99.1	82.0	95.7	100.1	99.5	98.4
前年比・前期比	1.6	7.4	26.2	△ 4.5	9.5	△ 17.3	16.7	4.6	△ 0.6	△ 1.1
在庫指数	88.0	105.0	93.5	93.4	93.2	84.5	105.3	104.1	106.8	107.2
前年比・前期比	△ 12.1	19.3	△ 1.3	△ 0.1	△ 0.2	△ 9.3	24.6	△ 1.1	2.6	0.4

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (13) プラスチック製品工業

— 生産、出荷は低下、在庫は上昇 —

生産指数は前年比 7.2%低下の 88.0 となり、出荷指数は同 9.0%低下の 88.4 となり、在庫指数は同 13.8%上昇の 108.7 となった。

図16 プラスチック製品工業 指数の推移

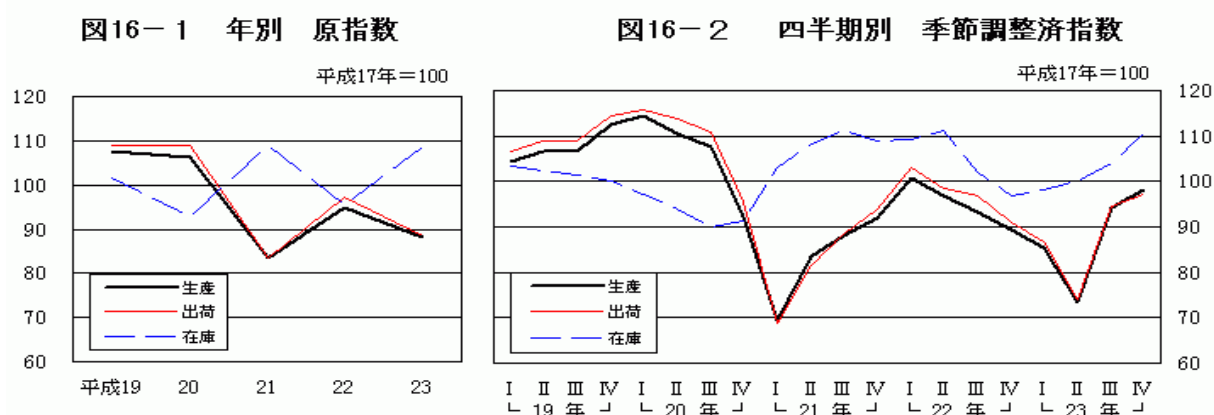


表17 プラスチック製品工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I	II	III	IV	I	II	III	IV
			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産指数	94.8	88.0	100.7	96.9	93.4	89.2	85.4	73.4	94.4	98.1
前年比・前期比	13.7	△ 7.2	9.7	△ 3.8	△ 3.6	△ 4.5	△ 4.3	△ 14.1	28.6	3.9
出荷指数	97.1	88.4	103.0	98.5	96.7	91.1	86.6	74.1	94.7	97.3
前年比・前期比	16.6	△ 9.0	9.7	△ 4.4	△ 1.8	△ 5.8	△ 4.9	△ 14.4	27.8	2.7
在庫指数	95.5	108.7	109.3	111.3	102.1	96.7	98.1	100.0	104.0	110.4
前年比・前期比	△ 12.5	13.8	0.3	1.8	△ 8.3	△ 5.3	1.4	1.9	4.0	6.2

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(14) パルプ・紙・紙加工品工業

— 生産、出荷、在庫ともに低下 —

生産指数は前年比 1.2%低下の 89.6 となり、出荷指数は同 1.4%低下の 89.4 となり、在庫指数は同 15.5%低下の 83.4 となった。

生産指数では、紙（前年比 4.6%低下）が低下し、板紙（同 6.3%上昇）等が上昇した。

出荷指数では、紙（前年比 2.8%低下）、紙加工品（同 3.5%低下）が低下し、板紙（同 6.3%上昇）が上昇した。

在庫指数では、紙（前年比 17.2%低下）、板紙（同 1.7%低下）等すべて低下した。

図17 パルプ・紙・紙加工品工業 指数の推移

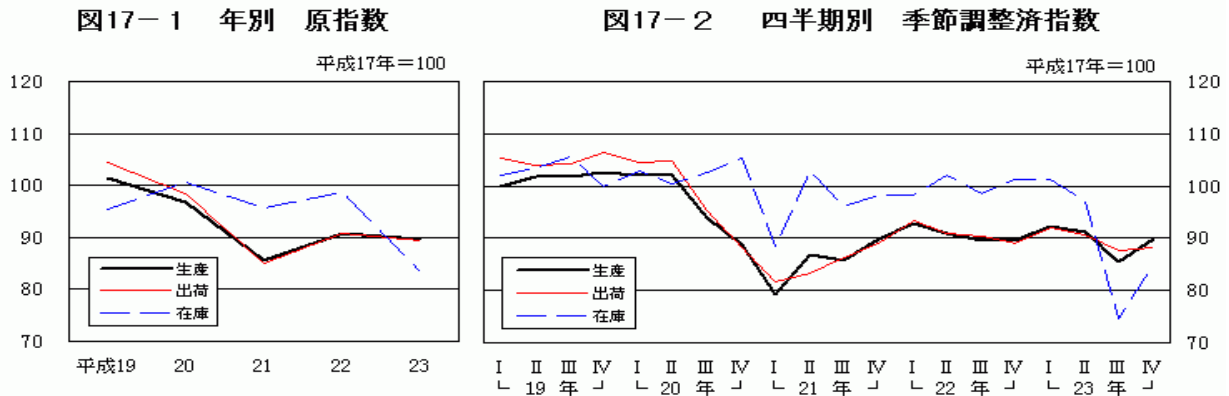


表18 パルプ・紙・紙加工品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	90.7	89.6	92.8	90.9	89.7	89.7	92.4	91.2	85.6	89.8
前年比・前期比	6.0	△ 1.2	3.3	△ 2.0	△ 1.3	0.0	3.0	△ 1.3	△ 6.1	4.9
出荷指数	90.7	89.4	93.3	91.0	90.4	88.9	92.0	90.6	87.7	88.1
前年比・前期比	6.7	△ 1.4	4.9	△ 2.5	△ 0.7	△ 1.7	3.5	△ 1.5	△ 3.2	0.5
在庫指数	98.7	83.4	98.2	102.2	98.5	101.3	101.3	97.1	74.7	85.0
前年比・前期比	3.1	△ 15.5	△ 0.1	4.1	△ 3.6	2.8	0.0	△ 4.1	△ 23.1	13.8

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。  
注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (15) 繊維工業

### — 生産、出荷は低下、在庫も5年連続の低下 —

生産指数は前年比 0.3%低下の 63.1 となり、出荷指数は同 6.6%低下の 55.6 となり、在庫指数は同 0.4%低下の 51.4 となった。

生産指数では、染色整理(前年比 4.2%低下)、敷物・フェルト・不織布(同 3.7%低下)等が低下し、化学繊維(同 1.7%上昇)等が上昇した。

出荷指数では、紡績糸(前年比 39.8%低下)、毛糸(同 52.4%低下)等が低下し、ニット・繊維二次製品(同 10.4%上昇)のみ上昇した。

在庫指数では、化学繊維(前年比 3.6%低下)、毛織物(同 12.8%低下)等が低下し、紡績糸(同 16.5%上昇)等が上昇した。

図18繊維工業 指数の推移

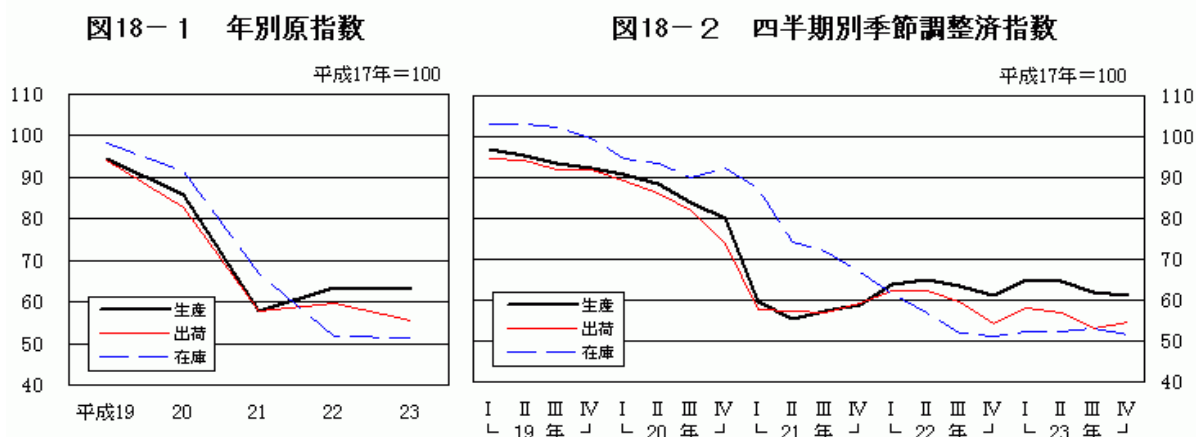


表19 繊維工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	63.3	63.1	63.7	65.0	63.5	61.1	65.1	64.5	61.9	61.2
前年比・前期比	9.3	△ 0.3	8.0	2.0	△ 2.3	△ 3.8	6.5	△ 0.9	△ 4.0	△ 1.1
出荷指数	59.5	55.6	62.3	62.2	59.8	54.4	58.2	57.1	52.9	54.8
前年比・前期比	3.1	△ 6.6	5.1	△ 0.2	△ 3.9	△ 9.0	7.0	△ 1.9	△ 7.4	3.6
在庫指数	51.6	51.4	61.7	56.9	51.9	51.1	52.3	52.2	53.1	51.7
前年比・前期比	△ 22.9	△ 0.4	△ 7.8	△ 7.8	△ 8.8	△ 1.5	2.3	△ 0.2	1.7	△ 2.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (16) 食料品工業

### — 生産は4年ぶりの上昇、出荷も7年ぶりの上昇、在庫は低下 —

生産指数は前年比 3.0%上昇の 94.2 となり、出荷指数は同 2.1%上昇の 88.7 となり、在庫指数は同 4.9%低下の 66.6 となった。

生産指数では、飲料(前年比 4.5%上昇)、加工食品(同 2.2%上昇)等が上昇し、調味料(同 1.1%低下)のみ低下した。

出荷指数では、飲料(前年比 6.3%上昇)、加工食品(同 2.4%上昇)等が上昇し、その他の食料品(同 2.7%低下)のみ低下した。

在庫指数では、その他の食料品(前年比 5.7%低下)、飲料(同 16.4%低下)が低下し、飼料(同 26.3%上昇)等が上昇した。

図19 食料品工業 指数の推移

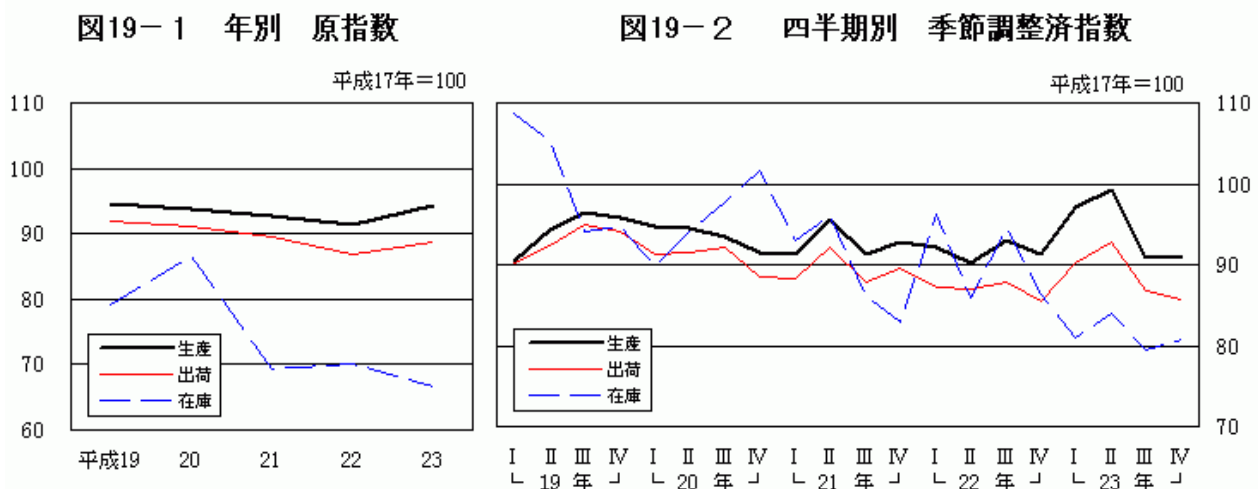


表20 食料品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	91.5	94.2	92.2	90.2	93.0	91.2	97.0	99.2	90.9	90.8
前年比・前期比	△ 1.2	3.0	△ 0.6	△ 2.2	3.1	△ 1.9	6.4	2.3	△ 8.4	△ 0.1
出荷指数	86.9	88.7	87.3	86.9	87.9	85.4	90.3	92.7	86.7	85.8
前年比・前期比	△ 2.8	2.1	△ 2.6	△ 0.5	1.2	△ 2.8	5.7	2.7	△ 6.5	△ 1.0
在庫指数	70.0	66.6	96.3	85.9	94.5	86.4	80.9	83.9	79.5	80.8
前年比・前期比	1.0	△ 4.9	16.3	△ 10.8	10.0	△ 8.6	△ 6.4	3.7	△ 5.2	1.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (17) その他工業

### — 生産、出荷は低下、在庫は3年ぶりに上昇 —

生産指数は前年比 8.4%低下の 81.8 となり、出荷指数は同 7.0%低下の 83.9 となり、在庫指数は同 8.8%上昇の 86.7 となった。

生産指数では、印刷業(前年比 24.0%低下)、家具工業(同 10.6%低下)等が低下し、木材・木製品工業(同 7.6%上昇)等が上昇した。

出荷指数では、家具工業(前年比 13.5%低下)、印刷業(同 23.9%低下)等が低下し、木材・木製品工業(同 6.7%上昇)のみ上昇した。

在庫指数では、ゴム製品工業(前年比 26.2%上昇)、木材・木製品工業(同 10.7%上昇)等が上昇し、家具工業(同 4.3%低下)のみ低下した。

図20 その他工業 指数の推移

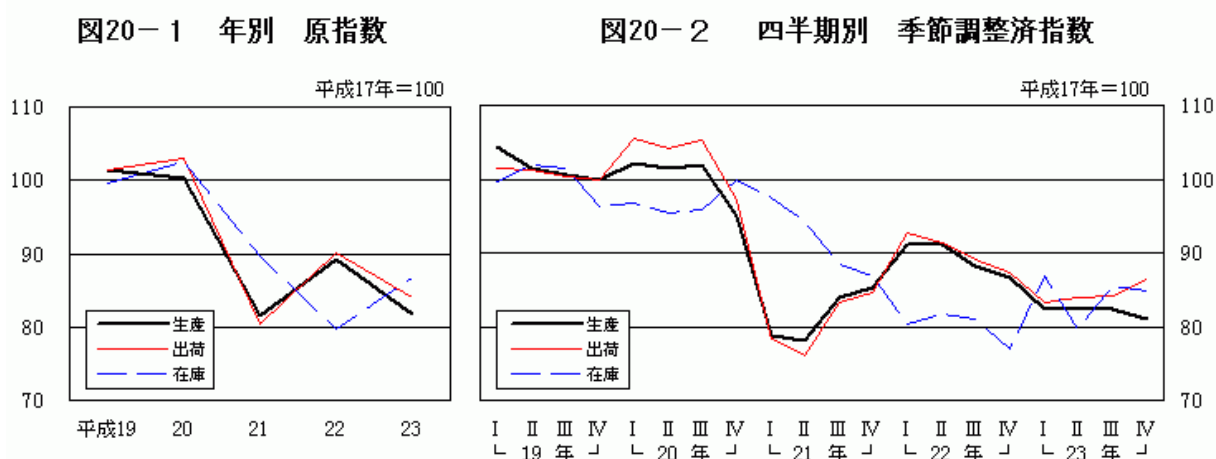


表21 その他工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	89.3	81.8	91.1	91.1	88.2	86.7	82.3	82.3	82.3	81.0
前年比・前期比	9.6	△ 8.4	6.8	0.0	△ 3.2	△ 1.7	△ 5.1	0.0	0.0	△ 1.6
出荷指数	90.2	83.9	92.6	91.3	89.0	87.4	83.3	83.9	84.1	86.3
前年比・前期比	12.0	△ 7.0	9.3	△ 1.4	△ 2.5	△ 1.8	△ 4.7	0.7	0.2	2.6
在庫指数	79.7	86.7	80.3	81.7	80.9	77.0	86.9	79.6	85.4	84.8
前年比・前期比	△ 11.0	8.8	△ 7.6	1.7	△ 1.0	△ 4.8	12.9	△ 8.4	7.3	△ 0.7

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

## (18) 鉱業

— 生産、出荷は2年連続上昇、在庫は低下 —

生産指数は前年比 3.5%上昇の 62.5 となり、出荷指数は同 3.7%上昇の 63.8 となり、在庫指数は同 10.8%低下の 75.2 となった。

図21 鉱業 指数の推移

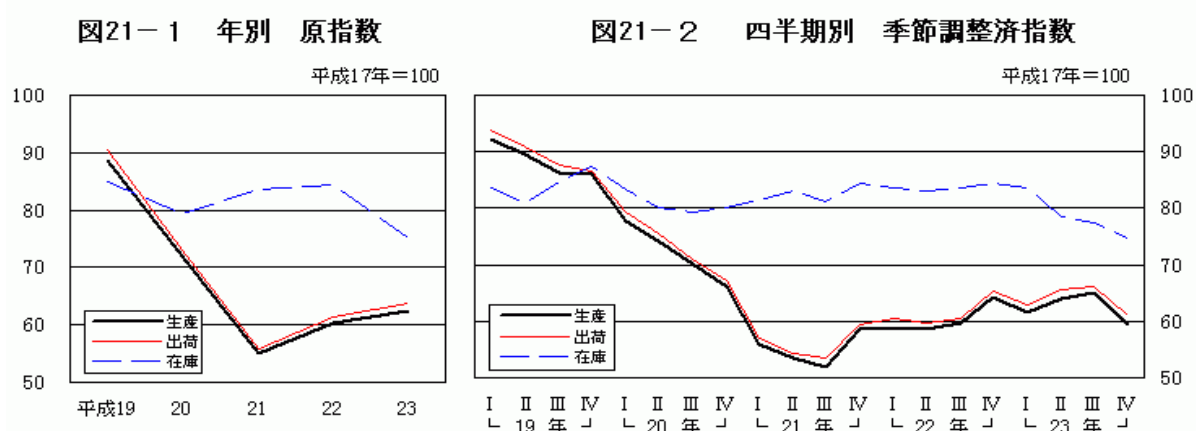


表22 鉱業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	60.4	62.5	58.9	58.7	59.6	64.2	61.5	64.1	65.0	59.4
前年比・前期比	10.0	3.5	0.7	△ 0.3	1.5	7.7	△ 4.2	4.2	1.4	△ 8.6
出荷指数	61.5	63.8	60.4	59.8	60.4	65.4	63.0	65.6	66.0	60.9
前年比・前期比	10.2	3.7	1.9	△ 1.0	1.0	8.3	△ 3.7	4.1	0.6	△ 7.7
在庫指数	84.3	75.2	83.5	83.1	83.7	84.3	83.6	78.5	77.4	74.6
前年比・前期比	0.7	△ 10.8	△ 0.9	△ 0.5	0.7	0.7	△ 0.8	△ 6.1	△ 1.4	△ 3.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。



### 3 財別の出荷動向

生産者出荷指数は前年比 7.7%低下の 83.8 でした。

これを、製品の経済的用途に着目して分類した財別生産者出荷指数でみると、最終需要に向けられる最終需要財は前年比 8.0%低下の 81.9、生産活動に再投入される生産財は同 7.4%低下の 85.5 でした。

最終需要財の内訳をみると、資本形成に向けられる投資財のうち、設備投資となる資本財は前年比 5.7%上昇の 76.6、建設投資に向けられる建設財は同 5.9%低下の 76.4 でした。また、主として家計で消費する消費財は前年比 12.5%低下の 84.6 でした。

図22 財別生産者出荷指数の推移

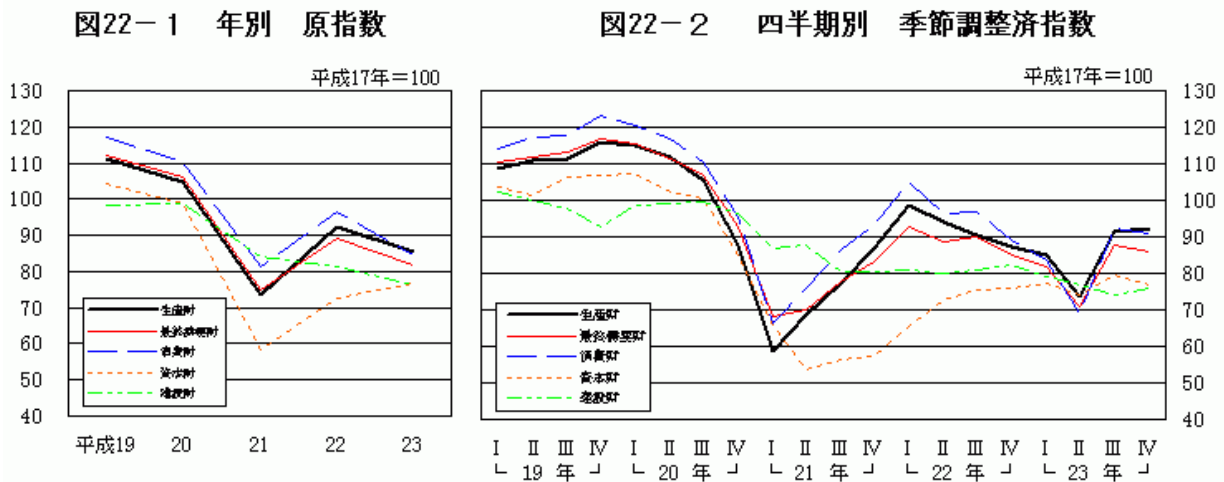


表23 財別生産者出荷指数 年・期別指数の推移

年・期		平成17年=100									
		平成22年	平成23年	平成22年				平成23年			
項目	年・期	平成22年	平成23年	I	II	III	IV	I	II	III	IV
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財		89.0	81.9	92.5	88.6	89.9	85.0	81.8	71.1	87.5	86.0
	前年比・前期比	18.5	△ 8.0	11.3	△ 4.2	1.5	△ 5.5	△ 3.8	△ 13.1	23.1	△ 1.7
投資財	資本財	72.5	76.6	65.4	72.7	75.5	76.0	77.1	74.2	79.5	76.9
	前年比・前期比	24.4	5.7	14.5	11.2	3.9	0.7	1.4	△ 3.8	7.1	△ 3.3
	建設財	81.2	76.4	80.9	79.9	81.0	82.2	79.1	79.1	76.9	73.9
	前年比・前期比	△ 3.2	△ 5.9	0.6	△ 1.2	1.4	1.5	△ 3.8	0.0	△ 2.8	△ 3.9
消費財		96.7	84.6	105.2	96.2	96.9	89.2	83.6	69.0	92.2	91.1
	前年比・前期比	19.2	△ 12.5	12.9	△ 8.6	0.7	△ 7.9	△ 6.3	△ 17.5	33.6	△ 1.2
生産財		92.3	85.5	98.6	94.0	90.4	87.3	84.9	73.6	91.3	92.3
	前年比・前期比	25.9	△ 7.4	13.7	△ 4.7	△ 3.8	△ 3.4	△ 2.7	△ 13.3	24.0	1.1

注1 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。